

【オリコンサルグローバル社員がセミナー登壇 プノンペンで都市交通の課題を解説】



## プノンペンで都市交通の課題を解説

### オリコンサルグローバル社員がセミナー登壇

カンボジアのプノンペンで開催された都市交通計画に関する国際セミナーに、オリエンタルコンサルタツングローバルの大和田学交通計画部副部長が招待プレゼンターとして登壇し、プノンペン郡での都市交通の課題と改善に向けた開発シナリオについて講演した。持続可能な都市交通シス

テムをテーマとしたパネルディスカッションにも参加した  
写真。

セミナーは、アジア開発銀行（ADB）とフランス開発庁（AFD）、国際組織の MobilityseYourCity が共催した。

大和田氏は、国際協力機構（JICA）発注の「プノンペン都市交通に係る情報収集・確認調査」に総括として携わった実績からJICAカンボジア事務所への推薦を受けた。渋滞への対応が喫緊の課題となっている中で、パネルディスカッションでは持続可能な都市交通システムの実現に向けた将来ビジョンを議論。大和田氏は、公共交通の促進に向け、市バス自体の運行改善にとどまらず、バス停のアクセス改善、バス優先信号の導入、路上駐車対策など網羅的なアプローチと関係機関の連携の必要性を指摘した。